

PTA みやぎ

MIYAGI Parent-Teacher Association

地域ぐるみで育てよう、心豊かでたくましい「みやぎの子」

第73回宮城県PTA研究大会
 東松島大会……………2～3
 第19回単位PTA会長会……………4
 令和6年度表彰団体一覧……………5
 令和6年度善行篤行児童生徒表彰
 ……………5
 PTAかわら版……………6～7
 令和6年度三行詩コンクール…8
 第41回宮城県PTA広報紙コンク
 ール作品募集……………8
 令和7年度行事予定……………8
 編集後記……………8

時代の変化で

塩竈市父母教師連合会では毎年6月頃に市P連の交流会としてバレーボール大会を開催していました。コロナ禍の影響で中止となっていたバレーボール大会でしたが、交流会再開にあたり改めて参加者の意見を聞くと子どもの面倒をみる為に練習や本番に参加ができない、怪我等の不安があるとの理由で参加者数は減少傾向となっていました。

そこで今年は内容を再度見直すことにし、「蔵王焼万風窯」様を講師としてお迎えして陶芸教室を開催しました。以前は大人同士だけの参加でしたが子どもを預ける必要も無く親子で参加できるので多くの子どもたちを連れての交流会となりました。また、子どもたちと一緒に作品を考えものづくりをすることで達成感を感じられ、大人も子どももみんなが楽しめた交流会となりました。

通信員 長南 正一



蒼き風の民



蒼き風の民 × SAMURAI APARTMENT
SAMURAI APARTMENT

大会会長
浅野 直美

大会実行委員長
浅野 和久

第73回宮城県PTA研究大会東松島大会
10月27日(日) 奥松島運動公園体育館

全体会の開会行事では、開会のあいさつとして東松島大会浅野和久実行委員長から「東松島でのPTA研究大会が13年前には東日本大震災の発生に伴い中止となり、再び開催地として巡ってきたこと。復興の証として再構築されたコミュニティー、住み良さと魅力ある地域を皆様に伝えることができる」と大会開催に際しての思いを話されました。

続いて、主催者のあいさつとして大会会長・宮城県PTA連合会浅野直美会長から、今大会のテーマ「㊦ろげよう！㊧っこう・家庭・地域から、㊨んてんの笑顔！㊩なごう未来へ！」に込められた思いと、多様な価値観の尊重と同時に様々な変化への対応力が求められる時代の中で子どもたちの未来のために私たち大人が真っすぐ向き合い、学びを止めず、心が育まれる環境づくりに努めることが重要であると同時に、PTA組織の役割は地域の人づくりであるということも強調され、PTAで活躍された方々が、やがて「地域の頼れる大人」となり地域貢献に携わっていくことが願いですと話されました。

ご来賓を代表して、宮城県知事村井嘉浩知事の代読として宮城県教育委員会千葉潤一副教育長よりご祝辞を頂き、開催地である東松島市渥美巖市長から歓迎の

あいさつを頂きました。ご来賓紹介後に、表彰状の贈呈が行われ、開会行事を終えました。

閉会行事におきましては、宮城県PTA連合会平吹淳副会長より大会宣言（案）及び大会決議が読み上げられ、参加者多数の拍手により承認されました。

その後、次期開催地である丸森町へ大会旗引継ぎが行われ、丸森大会実行委員がPRを行い、浅野大会会長から東松島大会浅野実行委員長へ感謝状が贈呈され、最後に東松島大会相澤誠副実行委員長の閉会宣言にて大会の一切が無事終了しました。

調査広報委員 小坂 健爾



基調講演Ⅰ

人はどう生きるべきかーひらけ未来への道ー

学校法人梅檀学園東北福祉大学学長千葉公慈氏より「人はどう生きるべきかーひらけ未来への道ー」についての講演をいただきました。

千葉氏は曹洞宗の住職でもあり、講演は仏教の教えを交えながら、和やかで分かりやすく、暖かい内容でした。

講演のなかで、「窮龜をあはれみ、病雀をやしなふべし。窮龜をみ病雀をみしとき、かれが報謝をもとめず、ただひとへに利行にもよほさるるなり。愚人おもはくは利他を先とせば、自らが利はぶかれぬべしと。しかにはあらざるなり。利行は一法なり、あまねく自他を利するなり」と言う仏教の教えについて、「困った亀や病気の雀をみて、通りすぎる人はいない。何とかしなければと思うのは、自分の内から自然に思うこと。そして、それは自分がそうするのが好きだからそうするのであって、お礼を言われなくても満足なのだ」と説明してくださいました。嫌々やっていることや義理や人情でやっていることは続かない。それが好きなんだ、それで自分も救われるんだという思いがないと持続は難しいと話されました。この話からは、PTAのあり方について、重要な示唆をいただきました。

また、学問は目的と手段が一体化しているものであ

り、良い仕事や進学、合格や資格を取るためではないし、本を読めば、スマホで知れば良いと言うわけではない。学問とはどういうものかを、学校や地域、PTAが一体となって考えていかなければならないと話されました。

講演を通じて、「人はどう生きるべきか」を考え、それを子どもたちへどう伝えていくかを見つめ直すことができました。

調査広報委員 伊藤 拓也



学校法人梅檀学園東北福祉大学 学長
千葉 公慈氏

基調講演Ⅱ

「地域づくりとしての『PTA』活動」

一般社団法人とちぎ市民協働研究会の代表理事廣瀬隆人氏より「地域づくりとしての『PTA』活動」についての講演をいただきました。

廣瀬氏の講演はご自身の経験された事例を通しながら、ユーモアを交えつつも、心に響く内容で、私たちに地域やPTAはどうあるべきなのかを訴えかける講演でした。

講演のなかで、地域医療や地域福祉、地域防災、学校を核とした地域づくりなど、「地域が様々な負担をする社会になった」と話され、この現状から、「自己責任と言う強者の論理では社会が破綻してしまう。お互いに助け合いや支え合い、地域で人のつながりをより強くしていくことが喫緊の課題である」と説明してくださいました。

また、PTAについても、「PTAは保護者同士がつながっている、学校や地域とつながっている、そのような『人のつながり、協働、地域と共生している』という姿を子どもに見せる場。そう言ったことを子どもに伝えている場。まさに地域づくりそのもの。だから、PTAはなくてはならないものだ」と話されました。『PTAの存在自体がそのことを子どもに教えて

いる』この言葉に、PTAのあるべき姿を見つめ直すための貴重な指針を得ました。

そして、安直で短絡的なPTA不要論は、分断され、孤立化、孤独化する社会づくりに加担してしまうことにつながってしまう。PTAがあることの意味を、PTAがあつて良かったと言う事例を広めていくことも大切だと教えてくださいました。

調査広報委員 伊藤 拓也



一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事
廣瀬 隆人氏

記念講演

育てるなんて おこがましい

講師

仙台育英学園高校硬式野球部監督
須江 航氏

冬の始まりの令和6年11月30日（土）、晴天の空気の澄んだこの日に富谷市にある成田公民館大ホールにて「第19回単位PTA会長会」に2022年全国高校野球選手権大会で東北勢初となる優勝に導いた仙台育英学園高校硬式野球部須江航監督の講演が開催されました。

須江監督は高校、大学と野球選手としては活躍していないとの話には驚きました。

須江監督の講演で心に残るお話の中で「昨今は失敗すること、挑戦することを怖がる子どもたちがすごく増えたと感じる。根本的理由はわからないがそれが気になる」と今の子どもたちの消極的なところを心配しているとのことでした。

「成功者は時間とともに右肩上がりという発想の子どもが増え、途中で挫折があると思っておらず打たれ弱い。挫折のない人生なんか面白くないし、挫折のない人生などない」と伝えなければ。

須江監督は『人生は敗者復活戦』と須江監督自身夢を見て埼玉から仙台育英の門を叩き入部1日で選手枠から外れたことで敗者となり、GM（グラントマネジャー）3年で学生コーチとし高校の部活を過ごし、大学野球でも同じ道を進み卒業後仙台育英学園秀光中学校で野球部の監督になり監督デビュー戦0-33の3回コールド。野球経験者ならありえないことに驚くでしょう。こういった挫折経験し敗者はそこから上に這い上がるしかないという気持ちが須江監督の根っこにあるのだと思い知ることができました。

2021年全国優勝の前年宮城大会4回戦で敗れ5年ぶりに夏の甲子園を逃した時、「もうダメだと思ったり負けたと思ったりするところから人生はスタートするものだから負けて終わりではないぞ。人生は敗者復活戦だからな」と敗戦後のミーティングで3年生に言葉をかけたそうです。「よくやった」の労いは現役を終えたときに。私には到底思いもよらない考えに何か考える道が開けたようで、須江監督の座右の銘が『人生は敗者復活戦』だからこその声かけなのかと思いました。



「指導者はモチベーターであり教育者はクリエイターでなければならない」との考えの須江監督は、チームでの全体ミーティングはもちろんのこと一対一でのミーティングを大事にしているそうです。一対一だからこそ深い話ができるし、監督が自分の話に耳をかたむけてくれている選手にとっては信頼できる指導者なのだと思います。

「日本一激しいチーム内競争の先に日本一がある」と言い続け自分自身の現在地、ライバルとの距離感を可視化することで足りないところを練習し、個々をレベルアップすることでチームを強くしていくことは間違いないでしょう。言われてやるのではなく自分からやるそのことを教えているのです。これから大学や社会にでてからも大切なことですし教育者として取り組んでいる指導なのだと思います。

私たちPTAでもとても参考になり、口で言うのは簡単ですがその取り組み方考え方を今活動している中に取り入れられたらPTA活動もよりいいものになるのではないかと思います。

皆さんも須江監督の講演を聴けるタイミングがあれば是非聞いてみてください。

調査広報委員 佐藤 和隆

令和6年度優良PTA団体・個人表彰者一覧

(敬称略)

※県P役員は令和5年度役職表示
※一般会員は令和6年度役職表示

文部科学大臣表彰

団体

大崎市立三本木小学校PTA

(公益社団法人)日本PTA全国協議会長表彰

団体

富谷市立成田中学校PTA

大崎市立敷玉小学校PTA

個人

宮城県PTA連合会副会長 平 吹 淳

大崎市立古川東中学校PTA顧問 八 木 昌太郎

富谷市立富谷第二中学校PTA前会長 三 浦 麻 美

山元町立山元中学校父母教師会顧問 齋 藤 哲 夫

東北ブロックPTA協議会長表彰

団体

川崎町立川崎中学校PTA

大崎市立古川第四小学校父母教師会

個人

村田町立村田第二中学校父母教師会元会長 半 澤 剛

大崎市立岩出山中学校父母教師会会長 曾 根 基

名取市立下増田小学校父母教師会会長 佐 藤 繁 樹

亘理町立亘理中学校PTA顧問 佐 藤 英 晃

丸森町立丸森中学校PTA会長 菊 地 利 行

東松島市立宮野森小学校PTA顧問 門 馬 一 樹

宮城県PTA連合会副会長 尾 坪 博 史

宮城県PTA連合会常任理事 佐々木 篤 志

宮城県PTA連合会常任理事 月 岡 正 博

宮城県PTA連合会事務局長 佐 藤 博 明

令和6年度優良PTA表彰一覧

団体

白石市立福岡小学校父母教師会

蔵王町立遠刈田小学校父母教師会

川崎町立川崎中学校PTA

丸森町立縮矢間小学校PTA

亘理町立逢隈中学校父母教師会

名取市立不二が丘小学校PTA

七ヶ浜町立七ヶ浜中学校父母教師会

多賀城市立多賀城小学校PTA

大和町立吉岡小学校PTA

富谷市立富谷中学校PTA

宮城県古川黎明中学校PTA

大崎市立岩出山中学校父母教師会

美里町立不動堂中学校PTA

石巻市立石巻小学校父母教師会

石巻市立北村小学校父母教師会

石巻市立飯野川小学校父母教師会

東松島市立矢本東小学校父母教師会

登米市立佐沼小学校PTA

登米市立加賀野小学校PTA

南三陸町立志津川小学校父母教師会

令和6年度善行篤行児童生徒表彰



角田市立北角田中学校	3年	後 藤 璃 子	大崎市立古川南中学校	3年	米 川 未羽菜
角田市立北角田中学校	3年	奥 山 真 衣	七ヶ浜町立七ヶ浜中学校	3年	市 川 蓮
石巻市立住吉中学校	1年	石 田 夏 渚	東松島市立大曲小学校	3年	鈴 木 彩 心
石巻市立住吉中学校	1年	佐々木 悠 乃	塩竈市立玉川中学校	3年	菊 池 夢 叶
山元町立山下第一小学校	5年	渋 谷 佳恵子	塩竈市立玉川中学校	3年	櫻 井 優 里
山元町立山下第一小学校	2年	高 橋 寿美玲	山元町立山元中学校	3年	藤 川 瑛 己
大崎市立古川南中学校	2年	小 野 美 空	気仙沼市立階上小学校	6年	小野寺 遥 哉
大崎市立古川南中学校	2年	中 村 美 波	岩沼市立岩沼西中学校	3年	鈴 木 優 孝
大崎市立古川南中学校	3年	佐々木 永 愛	岩沼市立岩沼西中学校	3年	渡 邊 大 雅
大崎市立古川南中学校	3年	藤 原 心 香	岩沼市立岩沼西中学校	3年	藤 田 遙 人
大崎市立古川南中学校	3年	操 亜咲妃	岩沼市立岩沼西中学校	3年	熊 谷 駿

かわら板



大崎市

汗と笑顔溢れるPTA運動会

通信員 伊藤 伸浩

大崎市PTA連合会では、令和6年7月7日(日)、昨年に引き続きPTA運動会を開催いたしました。コロナ禍前は、会員交流事業としてバレーボール大会を実施していましたが、誰もが気軽に参加できるスポーツとしてニュースポーツ4種目を選定し、地域対抗戦で企画いたしました。

本年は初開催の昨年を上回る22チーム、総勢約300名にご参加いただき、体育館の中では、外の猛暑を超える熱戦が繰り広げられました。

終了後実施したアンケートをもとに、来年以降さらに発展をさせ、会員の皆様に有意義な事業を今後も展開して参ります。



角田市

まだ2年生

通信員 佐藤 和隆

角田市立金津小学校は枝野小、藤尾小の統合での新設校です。子供会が2校合わせて18あった会も4つにまとめることでうまく交流ができていきました。

夏休み最後の日曜に親子奉仕作業で教室、体育館の窓拭き、草むしり後親子ドッチビー大会を4つの子供会総あたり戦で優勝を競い、新しい子供会がひとつとなり親子共々が楽しくできたことやP会員の皆さん同士が繋がることで金津小が少しずつ少しずつ一丸になったかその丸がさらに大きくなるのが楽しみです。

サイエンスインストラクターの阿部清人先生を講師にお招きし、「防災」プラス「サイエンス」の「防災エンスショー」と題した実験を行いながら防災について学べる講演会を行いました。

空気の重さや地震の揺れ方など実験やクイズ等を通じて、とても分かりやすく説明をしていただき、保護者も子どもも非常に楽しめる内容でした。

子どもたちが目の前で繰り広げられる科学の不思議にワクワクしながら目を輝かせ、食い入るように見つめる姿が印象的でした。



白石・刈田地区

親子で学んだ防災エンスショー

通信員 菊地 忠久

PTA



岩沼市

水合戦で思い出を

通信員 小菅 寿美

岩沼市立岩沼北中学校PTAでは、組織再編成により誕生したイベント委員会において「北中水合戦」と題し、チーム対抗の水鉄砲合戦を開催しました。

子どもと大人がそれぞれチームに分かれ、新聞紙で作った的を水鉄砲で打ち合い、最後に残った的の数で勝敗が決まります。この日だけは子どもも親も先生も関係なくずぶ濡れ状態。見学者も多

く、みんなでもっとも楽しい思い出になったので、是非来年もやろうか。結果は大人チームが優勝し、格の違いを見せつけました。



登米市

楽しさと学びの融合

通信員 石川 悟

登米市PTA連合会では、コロナ禍前は「PTA Aバレーボール大会」を実施していましたが、コロナ禍となり中止にしましたが、会員相互の親睦を図るということから、コロナ禍でも可能な「ニュースポーツ・パラスポーツ体験会」を昨年度から開催しました。体験した保護者が学校や地域に持ちかえり、子どもたちと楽しんでいきます。もう一つの事業としてパワーアップ講演会があります。今年度の『何が国語力を低下させたのか私たちがなすべきこと』をテーマにした講話と読み聞かせサークルによる絵本の読み聞かせは、子どもたちへの読み聞かせの大切さ、本を読む事の重要さを改めて感じさせられました。保護者が楽しく活動することは「子どもたちの健全な育ち」になると考え、楽しんで参加できる活動を目指していきたいと思えます。

栗原市

『正義感』より『正疑惑』

通信員 狩野 良太

11月に開催した栗原市PTA連合会地区セミナーでは、タレントのスマイリーキクチさんを講師にお迎えし、ご自身が経験された誹謗中傷の実例をもとに、情報発信の怖さや誤解が生む影響についてお話しいただきました。

『正しい』がいくつも存在する情報化社会の中で、『見聞きした情報が本当に正しいのか？自分の行動が本当に正しいのか？正義と暴力は紙一重。加害者にならないためにも、自分が抱く『正しい』を疑う『正疑惑』が今の時代は必要。』

子どもたちの安全なインターネット利用を見守るため、私たち大人も正しい知識を持つことの大切さを学ぶ時間となりました。

令和6年度 栗原市PTA連合会地区セミナー
スマイリーキクチ 講演会

【演題】『誹謗中傷を乗り越えて』
～命の大切さ、人生の大切さ、あきらめない心～

講演者紹介（社団法人のWebより抜粋）
1972年 東京都生まれ
1996年 朝日テレビ『タイムゾーン』司会
1994年 ココロ情報誌、1人で活動
1996年 妻に暴行のり人妻の個人だとネット上にアタリ書きされ、10年間、妻の誹謗中傷を受けながら、2011年 妻の誹謗中傷を受けながら、個人にアタリ書きされたネット中傷被害を受けた10年間、一歩一歩、ネット中傷被害を受けた10年間、一歩一歩、

著書 『突然、僕は殺人犯にされた』
竹書房から出版された書籍。『突然、僕は殺人犯にされた』ネット中傷被害を受けた10年間の経験から、トラブル回避法などを書籍で提供し、テレビドラマでも放映中。

日時 令和6年11月9日(土) 13:30～(受付 13:00～) 入場無料

場所 栗原市若柳総合文化センター (ドリームバル)

申し込み方法：右記の二次性コードを読み取り、Google formから申し込みください。
なお、申込締切は10月29日(金)とさせていただきます。
問合せ先：(栗原市立栗原小学校 課長 まで) ☎1:0228-22-1131

主催 栗原市PTA連合会 後援 栗原市教育委員会



報 告

<http://www.miyagi-pta.gr.jp/>
☎022-295-9581・9590

令和6年度

三行詩コンクール 推薦作品

【小学生の部】

栗原市立一迫小学校	2年	菅原綾乃
名取市立増田西小学校	3年	渡邊柚月
多賀城市立城南小学校	4年	成田楓花
気仙沼市立鹿折小学校	6年	田村徠登
気仙沼市立鹿折小学校	6年	西條乃愛

【中学生の部】

加美町立鳴峰中学校	2年	猪股心
東松島市立矢本第一中学校	2年	森桃子
東松島市立矢本第一中学校	2年	菅原佳菜子
東松島市立矢本第一中学校	2年	菅原あみ
東松島市立矢本第一中学校	2年	千葉新太

【一般の部】

登米市立浅水小学校	佐藤礼佳
大崎市立古川第四小学校	菅原洋美
富谷市立日吉台小学校	武田純子
加美町立中新田小学校	中島愛未
名取市立館腰小学校	遠藤由麻

令和7年度の主な行事予定

- 5月24日（土）
代議員会
会場・・・青年会館
- 7月12日（土）
第20回単位PTA会長会
会場・・・ニュー水戸屋
- 8月22日（金）～23日（土）
第73回日本PTA全国研究大会石川大会
- 9月13日（土）～14日（日）
第57回日本PTA東北ブロック研究大会仙台大会
- 10月26日（日）
第74回宮城県PTA研究大会丸森大会

第41回宮城県PTA連合会 広報紙コンクール作品募集

各単位PTAが作成した広報紙をぜひ本コンクールに応募ください。

【応募方法】

令和6年4月1日～令和7年3月31日までに年1号以上の発行された広報紙全号を各2部と応募票を県P事務局に送付ください。

また、印刷物で配布せずインターネットを介して閲覧するものを「WEB版」として応募を受け付けします。

「WEB版」はWEB版応募票を記入の上、応募票を直接miyagi-pta@h4.dion.ne.jpまで送付ください。

【応募期間】

令和7年3月10日（月）
～4月18日（金）

※応募締切厳守

【送付先・お問い合わせ先】

宮城県PTA連合会へ
直接ご連絡ください。

第40回広報紙コンクールの結果



<https://miyagi-pta.gr.jp/40th-kouhoushi-nyusho/>

編集後記

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてより、少しずつ各地で数年ぶりとなるような活動や催し物が増えながらも、活動内容や在り方を見直すなど新しい時代の段階に入っていると感じます。メディア等でPTAの話題が増えてきたように感じるのもそのうちの一つでしょうか。社会情勢や各家庭環境等、考えさせられることは沢山ありますが、子どもたちにとって将来の糧となるような経験、今しかできない思い出作りのお手伝いをしていければと思います。

調査広報委員 高橋 絵里子



環境に配慮した用紙・
インクを使用しています。

PTAみやぎ第195号 令和7年2月28日発行 年間購読料150円
発行所/宮城県PTA連合会・印刷/有限会社 南郷印刷